

平成25年度 第2回 環境審議会 議事録

- 1 日 時 平成26年2月28日(金) 午前10時～
- 2 会 場 豊明市役所東館 3階 政策審議室
- 3 出席委員(敬称略)
浜島 昭二、島田 隆道、鈴木 誠子、松本 昇、袴田 敏子
池野 昭子、相羽 良夫、伊藤 正樹、笠原 尚志、酒井 秀雄
加藤 慎、野村 寿子、阿部美由紀
- 4 欠席委員(敬称略)
渡辺 忠義、藤井 誠士、戸田 一
- 5 事務局
経済建設部長、環境課長、環境課長補佐兼ごみ減量推進担当係長
環境保全担当係長、ごみ減量推進係員、環境保全係員

13名の委員出席で成立要件を満たしており、午前10時審議会開会。

議題(1)「平成25年度豊明市環境基本計画目標の検証」について、事務局より資料1及び資料3に基づき説明をなす。

議長 委員の意見を求める。

G 農地の保全・農業の支援

意見 とよあけEco堆肥の販売実績が減少しているのはなぜか?

事務局 協力世帯率は横ばいであるため、Eco堆肥の原料となる生ごみを含むごみ全体の量が減少しているためと回答。

意見 分別意識が低下しているとは考えていないのか?

事務局 確かに生ごみ専用袋の配布数は減少しているが、ごみ全体が減少し生産量が落ちていることが要因と考えていると回答。

意見 Eco堆肥の販売実績が減少しているので、売れ残っているような印象を受けてしまう。販売実績でなく生産量を記載すべき。

事務局 生産量を記載すると回答。一部の地区で生ごみを分別収集し堆肥センターへ運んで、Eco堆肥にしている。家庭用の袋詰堆肥と農家用のバラ堆肥があり、その販売実績を表に示している。

意見 生ごみの分別収集は一部の地区で実施しているということであるが、拡大する予定はないのか?

事務局 本事業は2,400万円程の赤字である。事業仕分けでは、単なるごみ処理費用としてではなく、持続可能な取り組みや障がい者雇用として捉えるべきというご意見をいただいたが、市内全域に拡大すると7,500万円程の持ち出しになることが予想されるため、拡大することは困難であると考えている。

意見 冬場であれば家庭で生ごみを溜めておくことも可能であり、土日に持ち込める場所があれば収集費用をかけることなく、生ごみを集めることができるので、考えてみてほしい。

また、分別地区にもかかわらず分別しないことについては行政の問題と言えるだろうか。基本計画に記載のあるとおり、市民がやるべきこともあるのではないか。

環境基本計画全体

意見 5年毎の目標は記載されているが、具体的に何をするのかという記載がなく、狙った効果があったかが分かりにくい。

意見 現状がどの程度であり、目標設定は妥当であるかを検証しなければならない。Aの自然の保全において、目標値として森林114ha等と記載されているが、現状の記載がないので、現状把握のため全体として平成24年度末の数値を記載すべき。

事務局 数値を追記すると回答。

M 快適で安全な都市づくり

意見 商工会の街路灯は老朽化したため、LEDにした。街路灯は地域の防犯にも関係しており、LED化により費用が低減したことで、より長い時間点灯することができる。

意見 LED化することは産業振興課と商工会、相互の話し合いによるのか？それとも一方から発信したのか？産業振興課から発信したのでなければ、産業振興課と記載のある箇所にも商工会も併記すべき。

事務局 相互の話し合いのため、商工会と併記しますと回答。

N ごみから超ごみへの転換

意見 学校給食センターから排出される食品残渣の堆肥化を開始したのはなぜか？また、以前はどのように処分していたのか？

事務局 以前は事業系一般廃棄物として東部知多クリーンセンターへ持ち込み、焼却処分していた。平成24年度に試験的に実施し、平成25年度より本格的に開始した。市全体としては食品残渣の処理費用が減少したこと

になる。

意見 犬のふん害のことがここに記載されているのはなぜか？Mの快適で安全な都市づくりに記載してはどうか？ごみから超ごみへという意欲的なタイトルに見合うように、より詳細に記載すべき。

事務局 犬のふんがごみであること、またごみと同様に排出のマナーによる内容が環境基本計画中Nの項目に述べられているためと回答。

P 地球規模で考えるこのまちの取り組み

意見 市民ファンドを募る行為は市が斡旋するのか？

事務局 市有施設の屋根を貸し、借りた事業者が市民ファンドをつくるため、市は場所の提供をするのみで直接には関与しない。

Q 環境教育

意見 CO₂を可視化するだけで終わるのではなく、学校の先生による環境教育を行うべき。学校が何をするかということは、ある程度行政がコントロールすることができるので、行政が主体となって取り組んでほしい。

事務局 先生による教育も期待して可視化を義務付けたので、環境教育に結びつくようになればと考えている。また、事業者による出前講座等の話も出ている。

意見 環境課とだけ記載されているが、学校教育課も併記すべき。

事務局 学校教育課の協力なくしては進まない事業であるので併記すると回答。

C 自然とのふれあいの確保

意見 自然とのふれあいの定義とは何か？勅使池や二村山、境川についても記載すべき。

事務局 主に環境教育や農園について記載しており、不特定多数の方が訪れる場所については他の項目に記載がされてしまっているため、追記すると回答。

議長 議題（2）豊明市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）について事務局の説明を求める。

議題（2）「第1回環境審議会における指摘事項と回答」及び「パブリックコメントの結果」について、資料4に基づき説明をなす。

議長 委員の意見を求める。

(意見なし)

事務局 前回審議会資料の訂正について、資料5のとおり訂正させていただく。
また、計画書については修正後、ホームページにて掲載するがよろしいか。

(異議なし)

議長 では、続いて「2 その他」について、事務局の説明を求める。

事務局 ・ 今回の議事録について、会長及び副会長点検の後、市ホームページにて一般公開としてよろしいか。
・ 環境審議会委員の任期が2年間となっており、平成26年5月31日をもって任期満了となるため、改めて募集させていただく。

議長 了解した。
それでは、本日の審議会を終了する。

午前11時45分閉会

< 資 料 >

- ・ 次第（添付省略）
- ・ 委員名簿（議事録の後に添付）
- ・ 資料1 豊明市環境基本計画（抜粋）
- ・ 資料2 平成25年度豊明市環境基本計画目標の検証
- ・ 資料3 平成25年度豊明市環境基本計画目標の検証（概要版）
- ・ 資料4 第1回環境審議会指摘事項と回答
- ・ 資料5 配布資料変更点一覧（第1回審議会→第2回審議会）
- ・ 「豊明市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）の概要資料」